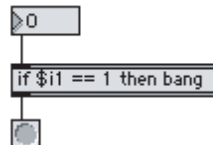
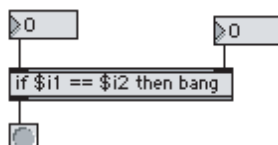


### ■ If 文による比較演算子を用いた条件分岐 まとめ

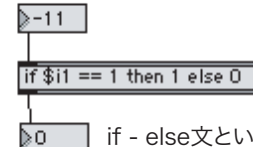
もし第1インレットからの入力が1に等しければ bang を出力



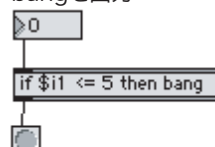
もし第1インレットと第2インレットからの入力が等しければ bang を出力 (入力は整数)



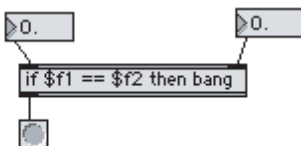
もし第1インレットとからの入力が1と等しければ bang を出力。 それ以外なら0を出力する。



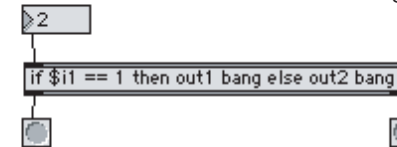
もし第1インレットからの入力が5以下ならば bang を出力



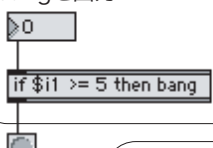
もし第1インレットと第2インレットからの入力が等しければ bang を出力 (入力は小数)



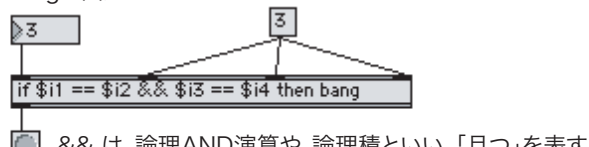
もし第1インレットとからの入力が1と等しければ 第1アウトレットからbang。 それ以外なら第2アウトレットからbang



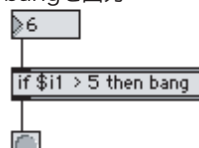
もし第1インレットからの入力が5以上ならば bang を出力



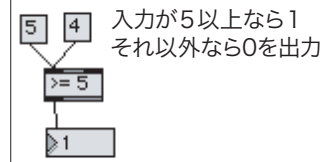
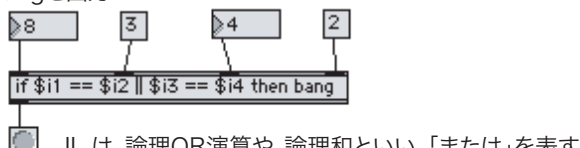
もし第1インレットと第2インレットからの入力が等しく 且つ、第3インレットと第4インレットからの入力も等しければ bang を出力



もし第1インレットからの入力が6以上ならば bang を出力



もし第1インレットと第2インレットからの入力が等しいか または、第3インレットと第4インレットからの入力が等しければ bang を出力



\$i1 = 変数を設定する。その変数に入力されるのは整数。その変数は第1インレットから入力される。  
\$f2 = 変数を設定する。その変数に入力されるのは小数。その変数は第2インレットから入力される。